

記入例

堆肥化を行う施設の整備
堆肥を保管する施設の整備

別記第1号様式（第4条関係）

令和6年度3月補正 山口市地域循環型農業施設整備支援事業費補助金交付申請書

第 号
令和〇年 〇月 〇日

(宛先) 山口市長

令和7年4月1日以降の日付にしてください。

住 所 山口市亀山町2番1号

氏名・法人名 株式会社 亀山耕畜牧場
代表者名 代表取締役 堆肥 撒蔵
(担当者名) 循環 進
電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

令和6年度3月補正 山口市地域循環型農業施設整備支援事業を実施したいので、山口市地域循環型農業施設整備支援事業費補助金交付要綱第4条の規定により、補助金3,000,000円の交付について下記のとおり関係書類を添えて申請します。

記

1 対象施設・装置

施設・装置名	堆肥舎
--------	-----

2 交付申請額

(単位:円)

総事業費①	補助金算定 (②×1/2)	交付申請額 (千円未満切り捨て)
6,600,000		
補助対象経費② (消費税及び送料(運賃等含む)を除いた額)	3,000,000	3,000,000
6,000,000		

総事業費①の税等抜額(補助対象経費②)から市補助金を計算してください。
※市補助金額は補助対象経費②の2分の1の額とし、千円未満切り捨て。

3 申請者の概要

事業範囲	経営耕地面積	家畜飼養頭羽数
耕種のみ	(a)	(頭・羽)
畜産のみ		
耕種 + 畜産	8,000 (a)	肉用牛15 (頭)・羽)

(注1)「家畜飼養頭羽数」は飼養する家畜の種類も記載すること。

4 事業実施内容

山口市地域循環型農業施設整備支援事業実施計画（別記第2号様式）のとおり

5 収支予算

(1) 収入の部

(単位：円)

区分	本年度予算額	備考
市補助金	3,000,000	
その他	3,600,000	
合計	6,600,000	

(2) 支出の部

(単位：円)

施設名・装置名	本年度予算額	備考
堆肥舎	6,600,000	
合計	6,600,000	

6 事業完了予定年月日

令和〇年 〇月 〇日

収入と支出の合計額が合うように記入してください。

7 添付書類

- (1) 山口市地域循環型農業施設整備支援事業実施計画（別記第2号様式）
- (2) 施設においては平面図及び立面図
- (3) 装置においてはカタログまたはそれに類する規格、性質が分かるもの
- (4) 見積書の写し
- (5) 設置場所が分かる位置図
- (6) 耕種農家は経営耕地面積が確認できる書類
- (7) 認定新規就農者は青年等就農計画認定書の写し
- (8) 認定農業者は農業経営改善計画認定書の写し
- (9) 農事組合法人、農事組合法人以外の農地所有適格法人、農業者が組織する団体、会社法人等は規約又は定款、構成員名簿の写し

別記第2号様式（第4条・第8条関係）

山口市地域循環型農業施設整備支援事業（変更）実施計画

氏名・法人名：株式会社 亀山耕畜牧場

1 事業区分

○	I	堆肥化を行う施設の整備
	II	堆肥を保管する施設の整備
	III	堆肥の流通を図るために必要な装置の整備若しくは改修

（注1）該当する事業区分に「○」を記載すること。

2 事業実施の目的（現状と課題）

【例】現在、経営規模80haの農地に水稻、飼料作物を栽培し、肉用牛（繁殖牛）を15頭飼養している。今後、畜産の規模拡大を検討しているが、家畜排せつ物の増加が想定され、既存の小規模なストックヤードではこれらを全て堆積させることが困難であり課題となっている。

3 実施方法、期待する効果

【例】本事業による堆肥舎の整備により、増加が想定される家畜排せつ物を堆積させ、効率的に堆肥化することによって、良質な土づくりを行う事ができ、化学肥料の使用量低減による経費の削減や循環型農業の促進が期待される。

4 補助対象の内容・経費の配分

（単位：円）

施設名 装置名	規格 型式	耐用 年数	総事業費 (①+②)	補助対象 経費	補助率	負担区分		竣工予定 年月日
						市補助金①	その他②	
堆肥舎	鉄骨組	20	6,600,000	6,000,000	1/2	3,000,000	3,600,000	令和〇年〇月〇日
			6,600,000	6,000,000		3,000,000	3,600,000	

（注1）事業計画の変更承認申請の場合は、変更箇所がわかるよう、変更承認申請前の数値等を（ ）書で上段に、変更後の数値等を下段に記載すること。

交付申請書(別記第1号様式)の「2 交付申請額」と数字を合わせてください。

5-1 取組目標について（「1 事業区分」において「I 堆肥化を

目標年度=交付決定の年度+3年
 (※3月補正の交付決定は令和7年4月以降のなるため令和10年度としてください)

(1) 有機性資源の活用に向けた取組

【事業実施】前年度（現状）		【目標年度】（令和10年度）	
ア	有機性資源廃棄量（受入量）	180 t・kg/年	240 t・kg/年
イ	堆肥等製造量	270 t・kg/年	360 t・kg/年
ウ	提供先数	1（先/年）	2（先/年）

(注1) イ、ウについては、堆肥等を製造しない場合は記載不要。

(注2) 有機性資源とは、牛ふん、鶏ふん、食品残さ、落葉等、剪定枝（木・竹）等、糞がら等をいう。

(注3) 「提供先数」は販売の有無に関わらず記載すること。ただし、全て自家使用の場合はその旨を記載すること。

(2) 化学肥料の使用量低減に向けた取組

【事業実施】前年度（現状） ・品目ごとに記入				活用する 有機性資源の種類	【目標年度】（令和10年度） ・品目ごとに記入			有機性資源について				
作付 品目	作付 面積	化学肥料 散布面積	有機性資源 散布面積		作付 面積	化学肥料 散布面積	有機性資源 散布面積	10aあたりの 使用量	仕入先	仕入価格 （付随費用）	運搬主体	散布主体
水稻	5,000 a	5,000 a	2,500 a	1 牛ふん 4 落葉等 2 鶏ふん 5 剪定枝（木・竹）等 3 食品残さ 6 その他（ ）	5,000 a	2,500 a	5,000 a	1 t	〇〇〇	2,000 円/t （配送費 込・無）	1 耕種農家 2 畜産農家 3 その他（ ）	1 耕種農家 2 畜産農家 3 その他（ 自社 ）
飼料 作物	3,000 a	3,000 a	1,500 a	1 牛ふん 4 落葉等 2 鶏ふん 5 剪定枝（木・竹）等 3 食品残さ 6 その他（ ）	3,000 a	1,500 a	3,000 a	3 t	自家調達	0 円/t （配送費 込・無）	1 耕種農家 2 畜産農家 3 その他（ 自社 ）	1 耕種農家 2 畜産農家 3 その他（ 自社 ）

(注1) 畜産業のみを営む農業経営体で耕作をしていない場合は記載不要。

(注2) 「作付品目」が複数の場合は欄を追加すること。

(注3) 「活用する有機性資源の種類」及び「運搬主体」、「散布主体」は該当するものに○印を記載すること。

(注4) 「その他」を選択した場合は詳細を記載すること。